



貞享本當麻曼荼羅
修理完成記念 特別展
中將姫と
當麻
曼荼羅
— 祈りが紡ぐ物語 —

2022

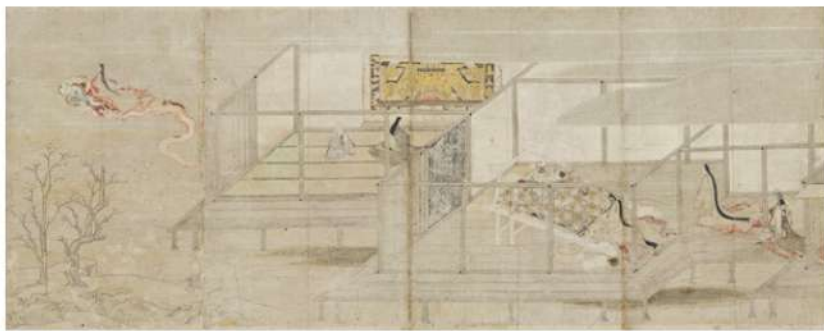
7/16(土) ~ 8/28(日)



奈良国立博物館
NARA NATIONAL MUSEUM

- 休館日：毎週月曜日(ただし、7月18日[月・祝]・8月15日[月]は開館)、7月19日[火]
- 開館時間：午前9時30分～午後6時(毎週土曜日は午後7時まで)
- ※ 入館は閉館の30分前まで。
- ※ 名品展(なら仏像館・青銅器館)とは休館日・開館時間が異なります。
- また、会期・開館時間等は今後の諸事情により変更する場合があります。
- 詳しくは奈良国立博物館公式ホームページをご覧ください。
- [主催] 奈良国立博物館、當麻寺、読売新聞社、NHK奈良放送局
- [協賛] 清水建設、大和ハウス工業
- [協力] 日本香堂、仏教美術協会 [問い合わせ] 050-5542-8600 (ハローダイヤル)





国宝 当麻曼荼羅縁起 下巻 (部分) 神奈川・光明寺蔵



国宝 当麻曼荼羅厨子屏 奈良・当麻寺蔵



極楽への祈りが生んだ奇跡

じょうきょうほんたい ままんだら
 貞享本当麻曼荼羅(重要文化財)は、奈良・当麻寺の根本本尊である
 つづれおりたい ままんだら
 綴織当麻曼荼羅(国宝、8世紀)の最も精密で色鮮やかな同大の写し
 で、江戸時代の貞享3年(1686)に完成しました。本展では貞享本の
 本格修理が完成したのを記念し、修理に伴い新たに発見された資料
 とともに、およそ4メートル四方と巨大ながら細部まで美しく描か
 れたその姿をご覧ください。

そして極楽往生を望み、綴織当麻曼荼羅の成立に深く関わったと
 伝承される奈良時代の貴族の娘・中将姫に注目します。女人往生の
 主人公として長く人々に尊ばれ、当麻曼荼羅信仰を支えた中将姫
 イメージの展開に迫ります。

※会期中、一部の作品に展示替えがあります。



稱讃浄土仏授受經 (部分) 奈良・当麻寺奥院蔵



厨子入中将姫坐像 京都・大雲院蔵

中将姫物語(あらすじ)

奈良時代、貴族の娘として生まれた中将姫は、美しく清らかな心をもつ女性であった。しかし実母の死後、継母に疎まれ、山中で殺害されそうになる。純粋な中将姫は助けられ山中で育つが、偶然父と再会し都に戻る。その後姫は当麻寺で出家。極楽浄土への思いを募らせていると、阿弥陀如来と観音菩薩の化身が現れ、蓮糸で当麻曼荼羅を織りあげ中将姫に極楽の姿を示す。そして中将姫は29歳のとき阿弥陀の来迎を受け無事極楽浄土へ往生する。

観覧料金(税込) ※カッコ内は前売料金です。

一般 1,600(1,400)円

高大生 1,000(800)円

小中生 500(300)円

※前売券の販売は、5月23日(月)～7月15日(金)です。
 ※未就学児および障害者手帳またはミライROID(スマートフォン向け障害者手帳アプリ)をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料です。
 ※本展の観覧券で、同時開催の名品展(なら仏像館・青銅器館)、わくわくびじゅつギャラリー(東新館)もご覧になれます。※奈良国立博物館キャンパスメンバーズ会員(学生)の方は400円、同(教職員)の方は1,500円で当日券をお求めいただけます。観覧券売場にて、学生証または職員証をご提示ください。

公開講座

第1回「貞享本当麻曼荼羅とその周辺」

講師 北澤 菜月(奈良国立博物館学芸部主任研究員)
 日程 8月6日(土)

第2回「中将姫説話の展開」

講師 日沖 敦子氏(文教大学文学部日本語日本文学科准教授)
 日程 8月20日(土)

時間/午後1時30分～3時(午後1時開場) 会場/奈良国立博物館 講堂 定員/各90名(事前申込制)。抽選による座席指定制となります。聴講無料(展覧会観覧券等の提示は不要です)。*詳細は奈良国立博物館公式ホームページにて順次お知らせします。[募集に関する問合せ] 読売新聞大阪本社文化事業部 電話06-6366-1848(平日午前10時～午後5時)

蓮糸織り体験ワークショップ

中将姫の物語に登場する綴織当麻曼荼羅は、蓮から作った糸を織って作られたと伝わりま。ワークショップでは蓮から糸を繰り出す作業を体験するとともに、蓮糸を織り込んだコースターを制作し、お持ち帰りいただけます。

- 日時:7月31日(日) 午前10時30分～、午後2時～の2回
 - 会場:奈良国立博物館 地下回廊
- ※詳細及び申込は奈良国立博物館公式ホームページをご確認ください。

当麻寺特別公開

裏板曼荼羅御開帳

7月16日(土)～8月28日(日)の全日
 曼荼羅堂の国宝・曼荼羅厨子の裏屏が開扉され、秘仏「裏板曼荼羅」が公開されます。500円(税込)。

国宝「東塔・西塔」初層特別開扉

7月16日(土)～8月28日(日)の
 毎土・日曜日、及び祝日
 古代の双塔伽藍様式を示す国宝の三重塔(東塔・西塔)を西塔修理完成後初公開します。

奈良仏像けんきゅ一部 中将姫と当麻曼荼羅展編

吉本興業所属の若手芸人が独自の視点から出品作品を解説します。

- 日時:8月11日(木祝)午後1時～2時30分
- 会場:奈良国立博物館 講堂
- 出演:笑福亭笑利、エナジー-西手(十手リンジ)ほか
- 料金:一般1,500円(税込) 保護者同伴で高校生以下無料

※展覧会の観覧料金は含まれません。定員:90名 ※詳細は奈良国立博物館公式ホームページでお知らせします。

アクリルキーホルダー付きチケット

曼荼羅に登場する化生童子の、ちょっと「シュールな」イラストがキーホルダーに!

料金:1,800円(税込)
 販売期間:5月23日(月)～7月15日(金)
 販売場所:ローソンチケット



化生(けしやう)童子

貞享本当麻曼荼羅の蓮池の中などに見える、赤子のような姿の子もたち。往生者が、極楽浄土に生まれてきたときの姿だと言われている。

※数量限定での販売となります。※会場販売価格660円(税込)。ただし、本チケットが完売の場合、会場での販売はありません。*詳細は奈良国立博物館公式ホームページをご確認ください。



〒630-8213 奈良市登大路町50番地
 奈良国立博物館公式ホームページ <https://www.narahaku.go.jp/>
 ○近鉄奈良駅下車 登大路を東へ徒歩約15分 ○JR奈良駅または近鉄奈良駅から市内循環バス外回り「氷室神社・国立博物館」バス停下車すぐ

@cyujohimeten22